

第12回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会

日時：令和7年12月23日（火）

18時～19時30分

会場：長野県庁西庁舎111号会議室

次第

1 開会

2 挨拶

3 会議事項

（1）「第11回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会」まとめ

（2）新校のフレックスな学びの実現に向けて

① 総合学科の学びについて

② 通信制の学びについて

4 諸連絡

5 閉会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会構成員名簿

※◎座長 ○新構成員

				(敬称略)
	区分	氏名	所属等	役職等
1	自治体	西澤 雅樹	長野市	副市長
2		丸山 陽一	長野市教育委員会	教育長
3	産業界	塚田 まゆり	長野商工会議所	副会頭
4	学識経験者	◎茅野 理恵	信州大学学術研究院教育学系心理支援教育グループ	准教授
5		小林 勝彦	長野県専修学校各種学校連合会	顧問
6	地域	坪井 俊文	長野地域振興局	局長
7		堀江 三定	長野市スポーツ協会	理事長
8		伊藤 羊子	一般財団法人長野県文化振興事業団 芸術文化推進室	室長
9		戸井田 由奈	特定非営利活動法人長野県NPOセンター	コーディネーター
10	同窓会振興会	西澤 敏	長野東高等学校同窓会	会長
11		和田 安雄	長野吉田高等学校戸隠分校同窓会	会長
12		鷺澤 幸一	長野高等学校定時制振興会	会長
13		塚田 篤雄	長野商業高等学校定時制振興会	会長
14		岡 正子	長野西高等学校通信制振興会	会長
15	PTA	服田 豊	長野東高等学校PTA	会長
16		若麻績英亮	長野市PTA連合会(小学校)	副会長
17		石坂 晶子	長野市PTA連合会(中学校)	副会長
18	小中学校等関係者	宮本由希子	長野市小学校長会(長水地区小学校長会)	会長
19		小林 克浩	長野市中学校長会(長水地区中学校長会)	会長
20		丸山 勝巳	長野養護学校	校長
21		中島 秀明	県立高等学校長会定通部会長(松本筑摩高等学校校長)	会長
22	再編対象校	○宮下 蓮生	長野東高等学校	生徒会長
23		宮尾 悟良		校長
24		柳澤 秀樹		教諭
25		徳武 誠也	長野吉田高等学校戸隠分校	生徒会長
26		田中くるみ		副会長
27		内藤 信一		校長
28		丸山 淳一		教諭
29		○齊藤 琉水那	長野高等学校定時制	生徒会長
30		廣田 昌彦		校長
31		山本 俊介		教諭
32		奥山 陽生	長野商業高等学校定時制	生徒会長
33		山岸 蓮弥		生徒会副会長
34		加藤 泰久		校長
35		寺嶋 龍也		教諭
37		亀山虎太郎	長野西高等学校通信制	生徒会副会長
38		三輪 元子		校長
39		古澤 広人		教諭

【事務局】		
学校名	氏名(役職等)	
長野東高校	(教頭)山本 丈治 (教諭)柳澤 秀樹 栗原 聰 染谷 翔太	
長野吉田高等学校戸隠分校	(教頭)宮下 由夫 (教諭)丸山 淳一	
長野高等学校 定時制	(教頭)小出 一也 (教諭)山本 俊介	
長野商業高等学校 定時制	(教頭)島崎 剛 (教諭)寺嶋 龍也	
長野西高等学校 通信制	(教頭)宮坂 洋子 (教諭)傳田 伊史 (教諭)古澤 広人	

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会事務局	柳沢 勝美	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	細萱 裕樹	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	土橋 邦彦	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	米澤 和真	高校教育課 高校再編推進室	主事
	小木曾一希	学びの改革支援課 高校教育指導係	指導主事

第11回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和7年11月25日(火) 18時~19時30分		
場 所	長野県庁西庁舎111号会議室		
出席 (敬称略) (◎座長)	西澤雅樹、丸山陽一、塙田まゆり、◎茅野理恵、小林勝彦、坪井俊文、伊藤羊子、戸井田由奈* 西澤敏、和田安雄、岡正子、服田豊、若麻績英亮、石坂晶子、宮本由希子、小林克浩 丸山勝巳、中島秀明*、宮尾悟良、柳澤秀樹、内藤信一、丸山淳一、廣田昌彦、山本俊介 奥山陽生、山岸蓮弥、加藤泰久、寺嶋龍也、亀山虎太郎、三輪元子、古澤広人 (以上31名 *オンライン2名内数)		
欠席 (敬称略)	堀江三定、鷺澤幸一、塙田篤雄、宮下蓮生、徳武誠也、田中くるみ 齊藤琉水那(以上7名)	傍聴	7名
事務局	長野東高校	山本教頭(事務局長)、柳澤教諭、栗原教諭、染谷教諭	
	長野吉田高校戸隠分校	宮下教頭(副事務局長)、丸山教諭	
	長野高校定時制	小出教頭、山本教諭	
	長野商業高校定時制	島崎教頭、寺嶋教諭	
	長野西高校通信制	宮坂教頭、傳田教諭、古澤教諭	
当日資料	懇話会会議資料(次第、構成員名簿、第10回懇話会まとめ)、別添資料(資料1~資料4)		

会議事項

- (1) 第10回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 再編実施基本計画に示す設置課程について
- (3) 新校のフレックスな学びの実現に向けて

主な内容(○意見及び質問等 →県教委)

【会議事項】

(1) 第10回長野東S F新校実施計画懇話会まとめについて

事務局から説明

○会議内容を振り返るために懇話会後、なるべく早くまとめのデータを構成員へ配布をお願いしたい。合わせて懇話会開催前にできれば当日配布される資料をいただけるとありがたい。

→検討して可能な範囲で対応したい。

(2) 再編実施計画に示す基本計画について

県教育委員会から、設置課程の検討経過を説明し、全日制を置かず、定時制の仕組みを活用した長野県初となる柔軟な仕組みの学校を設置することを提案。

○多部制の各部を設定しないということは、どの時間帯も自由に選択できるということで良いのか。

→現時点の案では可能としている。

○フレックス型(制)の名称は良いが、定時制であることは中学生へ丁寧な説明が必要である。

→承知した。

○長野県において宮城県アイデアル・スクールの仕組み(全日制)が設置できない理由をより分かり易く説明いただきたい。

→アイデアル・スクールは、「コアタイム」という必履修科目を履修する1日4時間の登校を条件とする時間帯があり、時間選択の柔軟性に課題がある。3部の定時制の仕組みであれば、午前・午後・夜間の時間帯を生活スタイルに合わせて生徒が選択できることのほうが、メリットが大きいと考える。

○法的には定時制の枠組み、広報(募集)上ではフレックス型(制)の名称をとあるが、もう少し分かり易く説明いただきたい。

→法的には、全日制・定時制・通信制の課程以外にフレックス課程のような新たな課程を設置できない。しかしながら、この仕組みは大変魅力的なので、これから入学してくる予定の小学生・中学生などにどのように周知していくかが課題であり一番大切と考える。広報上使用していく名称を「フレックス型(制)」としていきたいと考えている。

○今後、新たな学びの学校を考えるうえで、県外への視察の機会を設定いただきたい。また意見交換会(学校説明会)等を設定いただき広く県民の皆様へフレックス型(制)を周知いただきたい。

→引き続き検討する。

○コアタイムと多部制の時間設定の違いとは。

→コアタイムは指定の3時間目から6時間目までの4時間分の登校が必須である。多部制・定時制(3部制)の場合は3つの部の時間帯から自分の生活スタイルに合わせた時間を選択することができ、また入学後も所属部の変更が可能。以上の事から定時制の仕組みのほうがフレキシブルである。また、アイデアル・スクールは全日制であり、コアタイムを含む前後の時間で全員が一日計6時間を履修しなければならないが、多部制は4時間が必須であり前後の時間帯については、生徒が自由に選択できることが大きな違い。

- 履修したが修得できなかった場合はどうなるのか。多部制におけるフレックス度合いとは。
→全日制・学年制の場合は1年次に履修した科目が一つでも修得できないと留年。定時制単位制の場合は修得した単位を積み上げていくため留年という概念がない。また通信制で単位を修得することも想定。
- 修得できなかった単位が他の部もしくは通信制で補完できるということか。
→可能である。
- 県内多部制・単位制の充足率が低いとあったが原因は何か。ニーズはあるとのことだがその該当する人々は現在、どちらに所属しているのか。以上を踏まえてどう特徴づけるのか教えていただきたい。
- 柔軟な学びの環境を必要とする生徒へ公教育として対応することを優先。多様な生徒たちが学ぶことができる環境が存在することが重要。長野東S F新校においては、活発な部活動も残しつつ、個々がやりたいことを実現できる多様なニーズに対応。午前部で入学したがうまくいかなかった場合、2年次は午後部に変更することで、個人の生活スタイルに合わせて学ぶことも可能。また、現在の北信地区で夜間定時制に通っている生徒たちに、昼間定時制があれば通いたいというニーズがあった場合、対応することが可能。実際、東信地区の東御清翔高校では昼過ぎからの2部に通学希望の生徒が増加傾向。
- 県内における多部制・単位制の現状について分析をしながら、新しい学びについて検討を進めていただきたい。
- 特別支援という視点で、高校でも通級指導が必要な多様なお子さんがいる。自立活動を中心とした学習をする場合には、提案いただいている時間の設定であれば対応しやすいと考える。北信地区では、高校を巡回して障がいの程度に応じて個々に対応している。このような仕組みの学校は北信地区に必要。

議論の結果、全日制課程は設置しないことについて了承

(3) 新校のフレックスな学びの実現に向けて

県教育委員会から、更なる柔軟な学びの仕組みについて説明。

- ご提案の仕組みの例には4年次までしかないが、それ以降も在籍は可能なのか？
→各学校の規定によるが可能。
- 1年次から3部制の枠を設けず、2年次以降と同じようにフレックスな仕組みを検討いただきたい。
- 入学前の生徒に、1時間目から12時間目まで自分で自由に科目選択することはかなり難しいと考える。1年次に所属があることで、クラスとしての繋がりができるることは高校生にとって大事ではないか。
- 自由なことの素晴らしさはあるが、自分で選択することについての知識などを考えると1年次は3部制でも良いのでは。教育課程については、進路に合わせて柔軟な科目選択が可能なことは良いが、基礎科目から応用へ繋がるような選択ができるような配慮も必要ではないか。
- 小学校では、子供たちが自分でカリキュラムを考えて研究する時間を設定しているところもある。学校によつては、自由進度学習を導入しているが、カリキュラムのトータルゴールを示さないと、子供の負担が増える。特に支援が必要な生徒に対しての相談・サポート体制の充実が課題である。
- 戸隠の自然の中で学ぶ環境を残すこともご検討いただきたい。
- 3年で卒業、3年以上で卒業の場合のそれぞれの学びの例などを具体的に提示できると良いのでは。
- 生徒が主体のフレキシブルなカリキュラムを実行することは本当に先生たちが大変と感じる。1年目は1部2部3部とあるが2年目からは自分の好きな科目を好きな時間帯で履修が可能となる。先生方の勤務時間がどの様になるのか不安であるが、多様性の時代に対応した学校であり職員の配置についても今までの常識を超えた決定を期待したい。子どもが主体であり、長野東S F新校を選んだ子どもががっかりしないようにご検討をお願いしたい。
- フレキシブルで幅の広い選択にするならば総合学科も一つの方策と考える。例えば、キャリア教育を柱に生徒が自分を知りそして社会を知ることができる科目を設定できる。普通科より多くの学校設定科目が設置できるため、学びの幅が広がると考える。フレックスと合わせて総合学科について検討いただきたい。
- 県として学びの環境を設置した後、現場任せにせず、現場と共にアップデートしていただきたい。

【座長まとめ】

第1回から議論いただいている、多様な子どもたちのニーズに応えられる、長野県にこれまでにないフレキシブルな学びを可能とする学校創りについて、皆様に慎重な審議を重ねていただいた。新たなフレキシブルな学びについて検討を進めていく段階に来たと感じる。後半でいただいた様々なご意見を参考にして、ここからいよいよ具体的な仕組みの議論を深める段階に来た。引き続き皆様からのご意見を頂戴し、懇話会としての意見を事務局へ届けられるよう引き続きお願いしたい。

その他

【次回】

日時：令和7年12月23日（火）
会場：長野県庁西庁舎111号会議室
内容：長野東スーパーflex新校再編実施基本計画について

総合学科がひらく、 新しい学びのカタチ

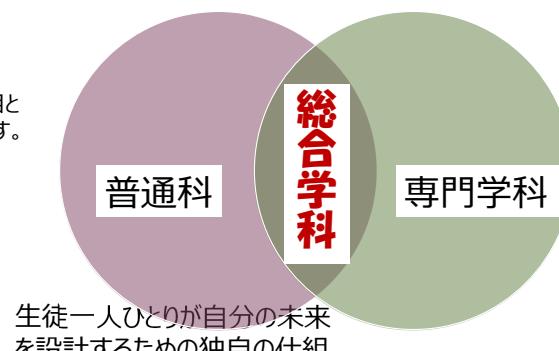
2025年12月23日（火）
第12回長野東スパースクール新校再編実施計画懇話会

普通科と専門学科の長所を あわせ持つ学び方

単位制

必履修科目に加え、普通教育科目と専門教育科目から選択して学びます。

普通科目	
国語	地歴
公民	数学
理科	
体育	芸術
家庭	情報
専門科目	
農業	工業
商業	水産
家庭	
看護	情報
福祉	理数



1

15歳の岐路

国語・社会・数学・理科・英語などの共通教科・科目を中心に学ぶ

普通科

中学校を卒業する時、多くの生徒が大きな選択を迫られます。

工業・商業・農業などの専門教科・科目を中心に学ぶ

専門学科

しかし、この時期に将来を明確に決めるのは簡単ではありません。

2

3

「学校」選び、「職業」選びから 「ありたい姿」探しへ

総合学科が最も大切にしているのは、単に「行く学校」を決める、「就く職業」を決めるではありません。
生涯を通じて「どんな人間でありたいか」を見つめるための学びです。

生涯を通じて取り組みたいこと、
ありたい姿“目標”

「学校」「職業」
夢をかなえるための“手段”

キャリア教育

科目選択

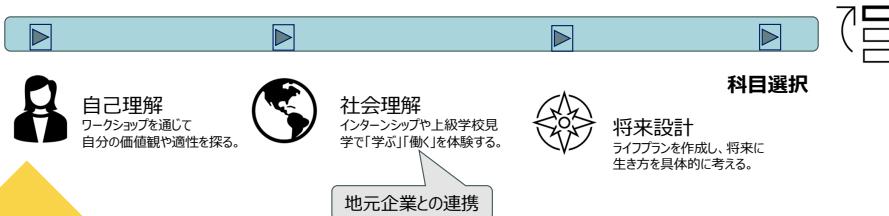
探究学習

4

1年次：まずは「自分」を知る時間 「産業社会と人間」

キャリア教育の中核となる科目
「問い合わせ続ける力を養う」時間です。

総合学科の1年生は、全員が「産業社会と人間」という必履修科目を学びます。これは、自分自身と社会について深く考えるための時間です。



5

2年次～：「自分だけの時間割」をデザインする 「科目選択」

150科目以上の学校も

「産業社会と人間」での学びをもとに、2年生からは生徒自身が科目（講座）を選択し、自分だけの時間割を作成します。興味・関心や進路希望に合わせて、学びを自由に組み立てることができます。

学びの柱となる「系列」
学問の指針として「系列」を準備
他系列の授業も選択可能
系列を超えた選択 = 学びの「掛け算」

- 農業
- 工業
- 商業
- 家庭
- 福祉
- 情報
- スポーツ
- 外国語
- 人文科学
- 自然科学
- 等



「学校設定科目」20単位取得以上可能
学校の特色に合わせた柔軟なカリキュラム
編成ができる

※各学校が生徒・地域の実態に応じて独自に設置できる科目。
例：「地域の歴史」「時事英語」「実用数学」など

6

高校生活の集大成：自分の「好き」を「学び」に変える「課題研究」

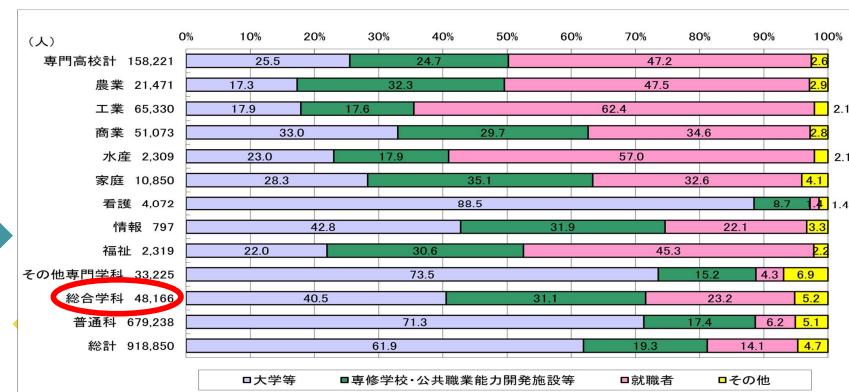
総合学科での学びの集大成として、生徒一人ひとりが独自のテーマで行う探究活動。自ら課題を設定し、仮説を立て、検証し、発表します。このプロセスを通じて、知識や技能を深化させ、社会とのつながりを見出します。



7

ひとつの答えはない だから、すべての進路に対応できる

R6学校基本統計

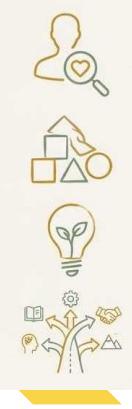


8

「総合学科」とは？ 自ら未来を創造するための学びの場

総合学科は、生徒一人ひとりが主役となる教育システムです。

1. 自分を知ることから始める（Discover Yourself First）
急いで専門を決めるのではなく、まず自分と社会を見つめる時間がある。
2. 学びを自由にデザインする（Design Your Own Learning）
豊富な選択肢から、自分の興味と目標に合わせて時間割を組み立てる。
3. 探究で学びを本物にする（Make Learning Real Through Inquiry）
自分の情熱をテーマに、答えのない問いに挑戦し、学びの集大成を創造する。
4. どんな未来にもつながる（Connect to Any Future）
主体的な学びを通じて「人間力」を高め、多様な進路を実現する力を育む。



「総合学科」に明日がなければ、 「高校教育」に明日はない

2017年第22回全国高等学校総合学科教育研究大会長野大会のシンポジウム
「総合学科に明日はあるのか？」における、
法政大学キャリアデザイン学部教授 児美川 孝一郎氏のことば。

※この資料は丸子修学館高校の「学校案内」「中学校訪問資料」、
中野篤男教諭「R6全国総合学科大会分科会資料」をもとに、
GoogleのNotebookLMが作成した資料を参考にしました。



長野県長野西高等学校 通信制

1

NAGANO-NISHI HIGH SCHOOL CORRESPONDENCE COURSE

本校は単位制です！

前籍校で修得した科目と単位数はそのまま本校で
引き継ぎます

前籍校で28単位修得して入学した編入生のBさん

前籍校で28単位
3年生で30単位
4年生で16単位

1年間で新規登録できる単位数は最大30

3

卒業の条件 -3つの条件-

1. 必履修科目を含めて**74単位以上**修得すること
2. 特別活動に**30時間以上**参加すること
3. 高校在籍期間が**3年以上**であること

→ 卒業

2

単位の修得

その科目的

1. レポートすべて合格
2. 決められた授業数出席
3. すべての試験に合格

→ 単位修得

4

レポート

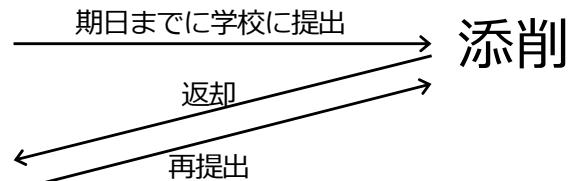
-レポート合格まで-



レポート作成

間違えたところを やり直し

合格するまで繰り返す



5

スクーリング② -必面時間-

必面時間 = 必要面接時間
= 出席しなければいけない時間数

必面時間の例

現代の国語 2時間 (年間授業数6回)

公共 2時間(〃 6回)

科学と人間生活 8時間(〃 10回)

体育1 (10時間) (14回)

実技科目等
は必面時間
が多い



6

- 1 時限から 6 時限まで在校する必要はない。
 - 空き時間がある場合は、自習室でレポート作成。
 - SHRはなるべく参加する。

第1時限	9:10~10:00
第2時限	10:10~11:00
第3時限	11:10~12:00
S H R	12:10~12:20
清掃	12:20~12:30
昼休み	12:30~13:15
第4時限	13:15~14:05
第5時限	14:15~15:05
第6時限	15:15~16:05

8

7

試験 -定期試験-

- 前期中間試験
 - 前期期末試験
 - 後期中間試験
 - 後期期末試験
- } 定試は各1回

◎定められた範囲のレポートに合格すると受験できます

- ・レポートを期限までに合格できなかった
- ・定期試験を受けたが不合格になった



9 特設試験を受験して合格を目指す

信友会活動① -信友会行事-

信友会活動が充実しています

II

本校通信制の生徒会

弦月祭

- 通信制単独の文化祭
→今年で14年目
- “弦月祭”と命名
→今年で12年目
- 生活体験発表会、ステージ発表、全校製作他



特別活動

特別活動に30時間以上参加すること

II

学校行事・信友会（生徒会）活動・SHRなど

入学式	3時間
始業式	1時間
弦月祭	2時間
人権教育	1時間
信友会選挙	1時間
SHR(3回)	1時間
	:

前籍校で

1年在籍	10時間
2年在籍	20時間

+

卒業までに → 30 時間参加

信友会活動② -クラブ活動-

バドミントン部

今年北信大会で優勝し、北信越大会に出場しました。



マンガ・アニメクラブ
弦月祭での発表です

◎この他に音楽クラブ・美術クラブ・ボランティア部・卓球部があって、日曜日の放課後に活動しています

卒業後の進路

四年制・短大	約10名
通信制大学	数名
専門学校	10~20名
新規就職	約10名
その他	約50名

幅広い年齢層・学習歴・現在職の有無
↓
卒業後の進路は多岐

II
家居・子育て・現職継続など

13

学費について

入学料	180円
受講料	受講単位数×220円
学習諸費	2,000円
同協会費	2,000円（入学時のみ）
信友会費	2,000円
教育振興費	1,500円
レポート代	受講科目数×200円
教科書・学習書	約15,000円（0単位新入生の場合）

15 年間おおよそ3万円（生徒個々により異なります）

生徒支援 相談体制が充実

スクールカウンセラーが相談にのります。

→専門のカウンセラーが日曜日に常駐
生徒自身も保護者も相談OK！

特別支援教育コーディネーターも相談の窓口に

→外部の相談機関(SSW)
にもつなげます。担任
にも遠慮なく相談をして下さい。



14



長野西望月サテライト校について

16

NAGANO-NISHI HIGH SCHOOL CORRESPONDENCE COURSE

高校改革の動き

令和2年(2020年)4月

長野西高校望月サテライト校開設

◇高校改革における「通信制改革の実践校」

県下初の公立通信制
サテライト校として
開設



17

週5日のプログラム

曜日	内 容
月	面接授業（必履修科目等）
火	面接授業（選択科目（SBS等））
水	面接授業（必履修科目等）
木	面接授業（選択科目（キャリア））
金	特別活動（自由参加）

19

学びの特色

1 最大週5日登校可能

自分の生活・学習スタイルに合わせて登校

2 個別最適な学び

A I 教材の活用、多様な選択科目の開設

3 地域と協働した探究的な学び

学校設定科目「キャリアI～V」

18

個別最適な学び

◆AI教材（すらら）の活用

○中学までの学び直し、大学入試に向けた学習等

◆多様な選択科目の開設

○個別最適な学び（SBS）※SBS=Step By Step

SBS国語、SBS数学、SBS英語、SBSベーシック

○大学入試に対応した科目

数学Ⅲ、物理 等



20

本校の学び④

学校設定科目「キャリア」

科目	テーマ	主な内容
I	環 境	花壇の整備、環境とリサイクル（環境施設見学）、校内環境整備
II	自 然	ゴルフ体験、農作業体験、乗馬体験
III	福 祉	保育施設・福祉施設訪問、仕事体験
IV	歴 史 文 化	中山道踏破、水源調査、比田井天来と書、雁喰豆と駒月みそかつ丼
V	進 路	進路ガイダンス、自己分析と面接試験対応、オープンキャンパス、就業体験
セルフ	自己理解	自己理解、ストレスマネジメント、リラクゼーション、コミュニケーションスキル



本校の学び⑥

その他(R7取組みの一部)

○ブックリサイクル



本と人を繋ぐプロジェクト

10/25(土)川西赤十字病院祭でのブックリサイクル
12/20(土)第2回絵本の架け橋プロジェクト

○SAMUカフェ

上田市の侍学園がオアシスルームで
月2回開くカフェ

本校の学び⑤

その他(R7取組みの一部)

○あさもち祭り参加 (12/18(木)キャリアセルフ)

浅科・望月地域包括支援センターが中心となり実行委員会を組織
地域で様々な活動を続けるグループが活動を発表し合うイベントに
キャリアセルフ受講者が参加

○佐久大学との連携



- 大学の先生による「自己理解」の講義
(キャリアセルフ)
- 望月サテライト校卒業生による講演
(キャリアV)

本校の学び⑦

ポジティブな通信制の選択

将来はプロの世界で活躍したい

ゴルフの県ジュニア選手権で優勝

浅田 彩七さん(長野西高校望月サテライト校1年／上田市・第四中出身)

5月に行われた県ジュニア選手権15-17歳の部で優勝することができました。中2の時に一つ年少の部で優勝し、昨年は全国大会も経験していますが、高校で強い先輩たちに勝てたことはうれしかったし、自信につながります。

小学3年の時に地域のスポーツ少年団でゴルフを始めました。うまくいかないこともたくさんあるけど、いいプレーができたり、競技の成績が上がったりするのが励みになっています。練習は質の高さを重視し、集中して行っています。

通信制課程の高校を選んだのも、ゴルフに集中したいからです。近い目標は、今月が国体の県代表予選、7月には全国大会につながる関東ブロックの大きな試合が二つあるので頑張ります。そして高3でプロテストを受け、プロの世界で活躍したいと思っています。



長野東S F新校 再編実施基本計画 策定スケジュール（予定）



◎共通理解

- 第1回：懇話会の趣旨説明
- 第2回：先進校の講演会

◎育てたい生徒像・目指す学校像

- 第3回：生徒像・学校像 グループワーク①
- 第4回：生徒像・学校像 グループワーク②
- 第5回：学びのイメージ(原案)について
- 第6回：学びのイメージ(原案)グループ意見交換
- 第7回：学びのイメージ(案)意見交換

◎新しい学校の形①

- 第8回：活用する校地・校舎
→ 長野東高校 承認
- 第9回：学びのイメージ(修正案)
→ 承認
設置課程について①

再編実施基本計画
完成(予定)

新しい学校の形②

- 第10回：設置課程について②
- 第11回：設置課程について③
→ 定時制(通称：フレックス型・制)承認
- 第12回：設置学科と通信制の学びについて
- 第13回：再編実施基本計画(案)の提案(予定)
 - ①再編統合対象校 ②募集開始(開校)年度
 - ③活用する校地・校舎
 - ④設置課程・学科・開校時に想定する募集学級数
 - ⑤学びのイメージ ⑥施設整備について
- 第14回：再編実施基本計画の決定(予定)